

## 「EduTown プログラミング」のヒント

※ 指示の入力は「半角」で！

※ 文字を表示したい場合は、「'」で囲ってあげよう！

「'」（シングルクォーテーション）は、キーボード「Shift」+「7」でできます！

Lesson1-1 ロボットと会話するための基礎を身につけよう！

ステージ 1 表示する指示は「print」

例：「日本学園」と表示

```
1 print('日本学園')
2
```

ステージ 2 足す指示は「+」

例：1+1 の計算を表示

```
1 print(1 + 1)
2
```

ステージ 3・4 変数は、箱を用意してあげるイメージで！

例：変数 nihon に文字列 '日本学園' を代入して表示

```
1 nihon = '日本学園'
2 print(nihon)
```



ステージ 5 変数は、箱を用意してあげるイメージで！

例：4 を 2 で割った「余り」の計算式 ※表示する命令は、これまでの方法で行ってみよう。

```
1 amari = 4 % 2
```

ステージ 6 円の面積は、半径×半径×3.14 で求められます。

PI = 3.14 となっているので、3.14 ではなく、PI と入力しよう。

## Lesson1-2 ロボットを少し賢くしよう！

ステージ 1 表示する指示は「print」

例：「日本学園」と3回表示

```
1 print('日本学園')
2 print('日本学園')
3 print('日本学園')
```

ステージ 2 while 文は「ループ処理」の指示です。

例：「日本学園」と5回表示

```
1 count = 0
2 while count < 5:
3     print('日本学園')
4     count = count + 1
```

count に 0 を代入  
count が 5 未満の間繰り返し  
'日本学園' と表示  
count の値を 1 増やす

ステージ 3 for 文も「ループ処理」の指示です。

例：「日本学園」と5回表示

```
1 for count in range(5):
2     print('日本学園')
```

count に 0 から 1 ずつ増やしなが  
5 未満の間を繰り返し  
'日本学園' と表示

ステージ 4 リストは[ ]で囲ってあげましょう。

例：「teacher」というリストから、0番目の'大森'を表示

```
1 a = ['大森', '竹田', '工藤', '堀越']
2
3 teacher = a[0]
4 print(teacher)
```

リスト a を作成  
変数 teacher は a という  
リストから、0 番目を選択  
変数 teacher を表示